

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	地理歴史	科 目	日本史 A	学 年	3	類型	商業科
単位数	2 単位	教科書	高等学校日本史 A 最新版		出版社	清水書院	
副教材							

学習の目標	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察することによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養います。
授業の概要	日本の近・現代史を重視した学習を行い、現在の日本がどのようにして成立したか、その経緯や背景を国際社会の中の日本という視点から理解し、現代社会の様々な課題の解決に向けて、歴史的に追究していく科目です。

	学 期	単 元	学 習 内 容	評価の観点				
				①	②	③	④	
年 間 学 習 計 画	1 学 期	私たちの時代と歴史 第1章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺 第2章 明治維新と近代国家の形成	1 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革 1 ペリー来航と日米和親条約 2 通商条約の締結と安政の大獄 3 貿易の影響と尊王攘夷 4 討幕運動の展開 5 新しい政治体制をめざして 6 近代国家の成立と国民の創出 7 近代化政策の展開 8 文明開化と民衆 9 新政府の国際承認	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	
	2 学 期	第1章 第一次世界大戦と日本 近代の追及 第1章 戦後政治の動向と国際社会	1 0 国境の画定 1 1 大久保政権 1 護憲運動と大正デモクラシー 2 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 3 ロシア革命とシベリア出兵 4 ヴェルサイユ講和とワシントン体制 5 政党政治の展開 1 占領と改革 2 占領下の政治と労働運動 3 日本国憲法の制定	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	
	3 学 期	現代からの探究	4 冷戦と占領政策の転換 5 戦後の国際情勢と日本の独立 6 戦後の国民生活と変化	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準			
①	②	③	④
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法			
学習状況は、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用」の4つの観点で評価します。具体的には、「出席状況」、「授業態度・取り組み方」、「定期考査」、「小テスト」、「提出物（レポートやノート）」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。			